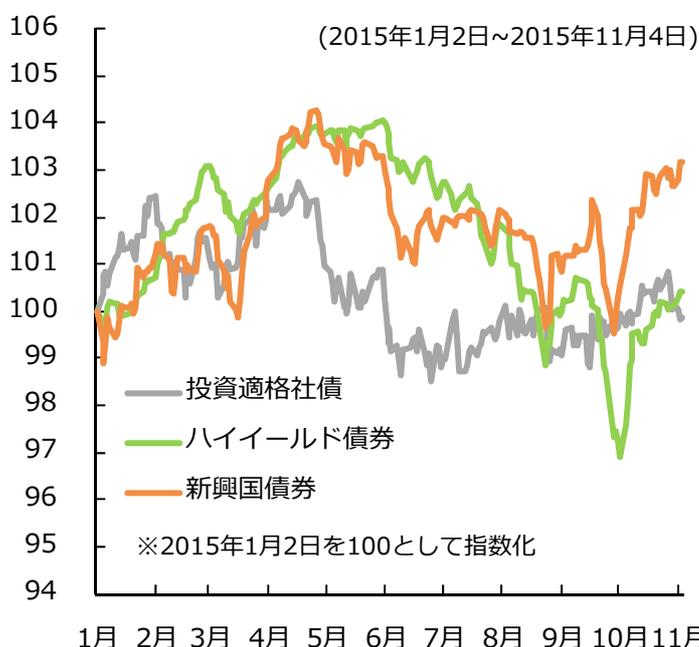


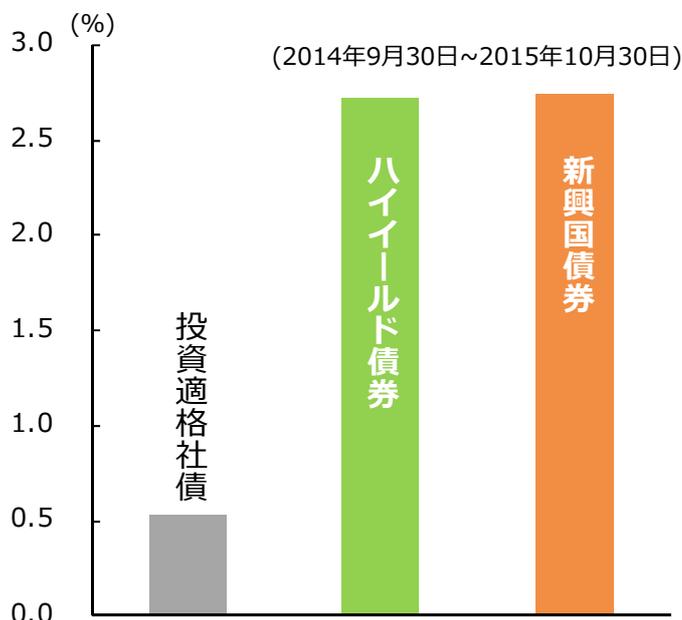
2015年10月の債券市場

10月は米国の年内利上げ観測が一旦後退し、新興国債券指数やハイイールド債券指数は上昇に転じた。足元でも両インデックスはしっかりとした推移が続いている。

< 債券インデックスの推移と騰落率 >



債券インデックスの騰落率



※投資適格社債：BofA メリルリンチ US コーポレート インデックス、ハイイールド債券：BofA メリルリンチ US ハイイールド インデックス、新興国債券：JPMorgan Emerging Markets Bond Index Global Diversified

- 10月2日に発表された米雇用統計が市場予想を下回る結果となり、米国の年内利上げ観測が後退した。市場で広がっていたリスク回避的な動きが後退し、新興国債券指数やハイイールド債券指数は上昇に転じた。
- 10月27日、28日のFOMC以後、年内の利上げ観測が再浮上しているが、新興国債券指数やハイイールド債券指数はしっかりとした推移が続いている。

< 米国の年内の利上げ? >

- 10月のFOMC声明文では12月のFOMCで利上げを検討することが指摘されていたため、12月のFOMCに注目が集まっている。12月のFOMCは15日、16日に開催される予定。
- 12月のFOMCに向け、債券市場では市場参加者による利上げに対する見方に影響を受けやすい状況が続くことが予想される。

出所：各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会